

Comments and Discussions

Hitoshi HIRAKAWA (平川 均) *

加々美光行教授の本ディスカッション・ペーパーは、中国の発展政策と、今日の中国で最も深刻な課題として関心を集めている「和階社会」との関係性を扱った論文である。著者は、中国の改革開放後の発展政策と成長、及び和階社会が唱えられるようになった経緯を具体的に確認し、その発展政策を決定づけた政策論と政策思想にまで踏み込んで考察を加えている。そして、中国の改革開放路線を決定づけた鄧小平の先富論を検討し、中国の発展概念の中に、発展と成長の差異への認識のなかったことに欠陥があったことを指摘している。

著者の論文は国連の『人間開発報告』の中国版の発行などの国際的な背景にも言及しつつ、中国の成長に関わる今日の矛盾への取り組みが不可避となったことを論じている。また、巨大な中国の発展であるがゆえに、今日、その課題が単に中国 1 国に限らず、世界の課題として登場していることを確認している。

本ディスカッション・ペーパーは、今日の中国の政策とその深刻な課題を生み出すに至った背景を分析してものとして意義あるものである。2010 年は奇しくも中国の GDP が日本を超えて世界第 2 位に躍り出た年である。目覚ましい中国の成長は当分続くと思われるが、貧富の格差の拡大、資源、エネルギー、食糧などの問題が山積しており、本論文が扱った主題は極めて重要な貢献をなすものであろう。

* Professor, Graduate School of Economics, Nagoya University.
名古屋大学大学院経済学研究科教授